

お母さんのためのお役立ちコラム

## 品よくお洒落感のある和装メイク&ヘアを

春は卒園式や入学式の季節。最近は和装スタイルのママも増え、式典がより華やかになっています。ただ、自己流ヘアやメイクがアンバランスな人も多く見かけます。和装であれ洋装であれ、晴れの日に適したメイクやヘアスタイルがあり、式典に列席するママに相応しいメイクマナーとヘアアレンジを紹介します。

水谷恭古さん

Kind mind主宰。テレビや雑誌、フライダルなどで東海地区を中心に全国で活躍中のフリーランスヘアメイク。着付けにも定評があり、国家資格である「着付け技能士」を取得。8歳の男の子、5歳の女の子のママ。



入学式に着物姿で参加するママを見てみると、普段と同じメイク&ヘアスタイルの人が少なくありません。なかには、派手な“盛りメイク”や“ギャルメイク”で顔だけが浮いてしまっている、なんてことも。特別な日を和装でお祝いするのなら、メイクやヘアスタイルも伝統をベースに、晴れの場に相応しいアレンジを心掛けたいものです。

色白に見せることが大切な和装時のメイクでは、しっかりとしたベースラインを作り込み、ハイライトで立体感を出すのではなく、リキッドファンデーションを使って和装によく似合うといわれる“のっぺり顔”を作ります。目元はぱっちり感を出さずに、アイラインで切れ長の目元づくりを心掛けます。アイシャドウは着物の色合いに合わせてポイントを入れ、つけまつ毛を付ける場合は、目じりに少し足すくらいにしましょう。眉は長く細く描くと洋風になってしまうので、あまり角度をつけず、短く太めにすると着物によく合う“和風顔”になります。また、アイブローは薄い色ではなく、濃い目のブ



ラウンなどを使うと存在感を出すことができます。リップは、ピンク、赤、ワインレッドなど色鮮やかなのはっきりとした色合いがおすすめ。リキッドファンデーションやコンシーラーなどで、唇の色を消してから入れると発色が良くなります。そして和装では間違っ

てもラメやグロスなどをつけないのが鉄則。チークはリップの色に合わせて、優しくほんのりと、が基本です。

ヘアスタイルは、メディアムロングやロングの場合は前髪から編み込んだり、前髪から襟足まで両側からねじってまとめるだけで、お洒落感がぐっと増します。また、下の位置で一つに結んでお団子にしても、品の良い和装ヘアスタイルになります。編み込みやお団子も、ポイントは襟足にほど良くボリュームをつけること。短い髪が出てくる場合はUピンなどでしっかりとまとめましょう。仕上げにワンポイントとして、かんざしやバレッタなどのアクセサリを効果的に使って、自分らしさをアレンジしてみてください。